

令和3年度 学校だより 6月号 5月28日発行

横浜市中区山元町3-152
電話 641-4857



やまもと

横浜市立山元小学校
校長 石田 薫

自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子



子ども達の柔軟な発想を生かすには・・・

校長 石田 薫

初夏の候、保護者の皆様、地域の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育活動にご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。明日、5月29日は運動会を予定しております。蔓延防止等重大措置の宣言下ではありますが、感染防止・熱中症対策に努めながら開催いたします。ご不自由をおかけしますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

今年度の運動会スローガンは《101お 笑顔あふれる あつい運動会》です。101年目の山元小の運動会なので101を『101お』にして、いおいおと読むそうです。子ども達は色々考えるものだと感心します。

先日、4年生の社会科の授業で、「ごみはどこへ」の学習をしていました。ご家庭で聞いてきたことを発表し合い、疑問や問題に思ったことから学習問題作りをしていました。

「月曜日と金曜日が燃えるごみで、火曜日が瓶・缶、木曜日がプラごみ。疑問に思ったことは、火曜日って火っていう漢字じゃん。なんで、燃えるゴミじゃあないんだろう。」

「あー。火曜日に燃えるゴミにするとわかりやすいね。」

「じゃあ、金曜日は金属？」

「確かに覚えやすい。」

子ども達の疑問や考えは、目の付け所が違うなと思わず唸ってしまいました。子ども達自らが、疑問を出し合い、それを話し合い等で深めていくことは、習ったことを覚える受動的な学習より遥かに知識として定着します。この学習を成立させるためには、自分のわからないことや迷いや考えを安心して表出できる学級の雰囲気づくり、信頼関係づくりがとても大切です。

新学期が始まり、2か月が経ちました。今月は、授業参観が予定されております。是非、お子様の様子と同時に学級の雰囲気もご覧ください。

今月もよろしくお願いいたします。